



## 2021 年度立命館大学 EDGE + R Women-trepreneur Compass Program 「Girls Camp」 【募集要項】

### 【概要】

Women-trepreneur Compass Program 「Girls Camp」では、ダイバーシティ（多様性）の時代ですがあえて短期間の間に女性が集まって多様性や未来を考えることを目的に、学内外の女性社会人・女性学生を主対象に、将来のキャリアや生き方を考える 2 日間のワークショップを開催します。

DAY1 では、キャリアセミナー（Girls in Tech 提供）を完全オンライン形式で行います。日本女性の技術者や起業家を支援する世界団体の Girls in Tech が提供する特別セッションです。様々な業界で活躍する女性社会人の方々と交流し、これからのキャリア、将来の生き方のヒントを考えます。DAY2 では、システムデザイン×調理科学ワークショップを対面形式で行います。身近な題材として味噌汁の調理を取り上げ、イノベーションや新規ビジネス・サービス設計に用いられるシステムデザインと調理科学を掛け合わせたワークショップです。

本ワークショップを運営する EDGE+R プログラムは、文部科学省「次世代アントレプレナー育成事業」（EDGE-NEXT）の採択事業として立命館の全学部・研究科の学生を対象に

実施しています。さらに EDGE-NEXT では、多様性と創造的協働に基づくアントレプレナー育成プログラム「IDEA コンソーシアム」（主幹機関：九州大学、協働機関：立命館大学、奈良先端科学技術大学院大学、大阪府立大学）として、大学の垣根をこえて活動をしています。Women-trepreneur Compass Program 「Girls Camp」は、「IDEA コンソーシアム」の一環として実施されます。他大学の学生さんや社会人と交流するチャンスです。是非ご参加ください。

**日 時：DAY 1 ／ 2021 年 12 月 2 日（木） 18：00～20：30**

**DAY 2 ／ 2021 年 12 月 4 日（土） 13：00～17：00**

**場 所：DAY 1 ／ オンライン**

**DAY 2 ／ 立命館大学びわこ・くさつキャンパス**

**コラーニングハウス II 4 階 調理学実習室 B**

**定 員：DAY 1 ／人数制限なし（DAY2 参加する方は DAY1 も必須です）**

**DAY 2 ／16 名（応募者多数の場合は、抽選いたします）**

**主 対 象：女性学生（学部，大学院，専門，学年，国籍等は問いません）**

**実施言語：日本語**

**内 容：※内容は変更になる場合があります**

## **DAY 1**

### **■タイトル■**

**「Girls in Tech Japan※ presents Women's Pitch Night」**

### **■概 要■**

COVID-19 によって社会が大きく変化していく中、これから社会へ出る学生の皆さんは、今後のキャリアに対し、漠然とした不安が増加しているかもしれません。Women's Pitch Night では、様々な業界で活躍する女性社会人を招き、これまでのキャリアや今後の展望をシェアすることで、学生の皆さんの不安を解消し、個々人のキャリア、今後の生き方に関するヒントを提供致します。

※Girls in Tech は、2007 年に生まれた、女性起業家と技術系女性のエンパワーメント・エンゲージメント・教育にフォーカスしたグローバルな非営利団体です

### **■タイムテーブル■**

18:00- 開会

18:15- アイスブレイク & Girls in Tech Japan 紹介など

18:30- Girls in Tech 提供キャリアセミナー（登壇者ピッチ形式）

19:20- 休憩  
19:25- 学生×社会人登壇者交流（ブレイクアウトルーム）  
20:30- ラップアップ  
20:35 終了予定

■登壇者■

- ①今堀郁枝 株式会社 IHI グローバル営業統括本部グローバル戦略部
- ②上原奈々 グローバル人事
- ③神原沙耶 みなものふたり（個人事業）代表
- ④サルディ佐藤比奈子 Ableton 株式会社 / Women In Music Japan
- ⑤竹本祥乃 研究技術者・映画監督

**DAY 2**

■タイトル■

**【システムデザイン×調理科学】**

～味噌汁のシステムデザインを通じてイノベーション・創造性を育む～

■タイムテーブル■

13:00- 開会  
13:05- アイスブレイク・グループ自己紹介  
13:30- Part1：味噌汁の分解【レクチャー】  
1) 味噌汁は何かからどのように作られている？  
～味噌汁の構造と作り方～  
2) だしの試飲  
Part2：料理のシステムデザイン【レクチャー】  
1) 新しいアイデアで味噌汁のレシピを設計する  
14:15- 休憩  
14:30- Part3：味噌汁レシピの設計【オンライングループワーク】  
チームに分かれ新しいアイデアで味噌汁のレシピを設計する  
15:15- Part4：味噌汁づくり実践  
1) 調理  
2) 試食  
3) 評価  
16:30- ラップアップ・まとめ  
16:50- 事務連絡・アンケート入力依頼  
17:00 アンケート入力後に解散、終了

■講 師■

本田 智巳氏（立命館大学食マネジメント学部 助教）

野中 朋美氏（立命館大学 EDGE+R プログラム副総括責任者・  
食マネジメント学部准教授）

**実施体制：**主催◇立命館大学 EDGE+R プログラム

協力◇Girls in Tech Japan、食マネジメント学部

**参 加 費：**無料

**応募方法：**下記フォームよりお申し込みください

応募フォーム URL/ <https://forms.gle/VUrpcUU6tavEeYnf9>

**締 切：**11月28日（日）23:59

問合せ先：立命館大学EDGEプログラム運営事務局 担当者：勝屋・吉川

（立命館大学 びわこ・くさつキャンパス 共通教育課内）

Tel：077-561-5910

e-mail：r-edge@st.ritsumeai.ac.jp

HP：[http://www.ritsumeai.ac.jp/ru\\_gr/edge/](http://www.ritsumeai.ac.jp/ru_gr/edge/)



The poster for 'Girls Camp Women-trepreneur Compass Program' features a silhouette of a woman's head in profile against a dark background. The text 'EDGE+R' is written vertically on the left. The main title 'Girls Camp' is in large, bold, yellow and white letters. Below it, 'Women-trepreneur Compass Program' is written in white. On the right, there is a small logo for 'イノベーション・アーキテクト養成プログラム' (Innovation Architect Training Program) with the text 'EDGE+R Program for the Cultivation of Innovation Architect'. Below this, the slogan 'Be a Woman Innovator.' is written. The event schedule is listed: 'Day1 | 12月2日 (木) 18:00~20:30 オンライン開催' and 'Day2 | 12月4日 (土) 13:00~17:00 立命館大学BKC'. Below the schedule, it says 'Girls in Tech Japan presents Women's Pitch Night'. At the bottom left, it says '募集締切 | 11月28日 (日) 23:59'. At the bottom right, it says 'システムデザイン×調理科学 ~味噌汁のシステムデザインを通じてイノベーション・創造性を育む~'.

EDGE+R

Girls Camp

Women-trepreneur Compass Program

イノベーション・アーキテクト養成プログラム  
EDGE+R Program for the Cultivation of Innovation Architect

Be a Woman Innovator.

Day1 | 12月2日 (木) 18:00~20:30 オンライン開催

Girls in Tech Japan presents Women's Pitch Night

Day2 | 12月4日 (土) 13:00~17:00 立命館大学BKC

システムデザイン×調理科学  
~味噌汁のシステムデザインを通じてイノベーション・創造性を育む~

募集締切 | 11月28日 (日) 23:59

【コロナウイルス感染拡大予防対策に関して】

<参加者全員>

- ・事前にご自宅で検温を済ませ、発熱や息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、嗅覚・味覚異常の症状等がないか確認してください。（発熱は37・5度以上もしくは平熱より1度以上を目安とする）。該当する場合は出席を禁止いたします。
- ・会場入口で検温、風邪症状、下痢・腹痛・嘔吐の症状、同居家族の状況の確認と記録を行います。

※37.5度以上の発熱等の症状がわかった場合は、速やかに帰宅して症状がよくなるまで自宅療養してください

- ・全員マスク着用。会場への移動および会場内滞在時にマスク着用を義務付けます。
- 参加者全員、清潔なハンカチ、又はタオル持参。
- ・不要な会話、大声での会話の禁止や咳エチケット。
- ・会話をする際はできる限り真正面を避けてください。
- ・調理・試食する際は必ず手洗いをを行い、試食する際は、会話を控えましょう。

#### <運営面>

- ・換気扇・ドアの開放など、換気の徹底。
- ・ソーシャルディスタンス（身体的距離2m/最低1m）の確保。
- ・会場内の収容人数は各教室収容定員の1/2以内。
- ・会場入り口および会場内に手指消毒液を設置、こまめな消毒・手洗いの徹底。
- ・共有備品（マイクなど）および共用部分（手摺り、ドアノブなど）の消毒の徹底。
- ・**調理、試食する際は下記を徹底する。**
  - ・手洗いは30秒程度かけて、水と石けんで丁寧に洗う
  - ・手を拭くペーパータオルを設置し、個人のタオル等は使用しない。
  - ・衣服の衛生にも留意する。
  - ・食材を取り扱う場合には器具の消毒やゴム手袋の着用などを心掛け、交差汚染防止を徹底する。
  - ・試食の際は対面を避け、フェイスシールドを装着する。大皿での取り分け等の形式は取らない。

#### 【参考】立命館大学として実施する感染防止対策

感染防止対策の基本（立命館大学における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン一部抜粋）

- 「新しい生活様式」にもとづき厚生労働省が推奨する基本的な感染防止策（①身体的距離の確保、②マスク着用、③手洗い）とともに、「3つの密」（密閉・密集・密接）を避けるための対策を基本に、学生のみなさんや教職員が安心・安全に授業や学生生活を送ることができるよう、大学としてできる限りの対策をとることとしています。
- また、自分のため、みんなのため、そして大切な人のために、「自らが感染しない」

「人に感染させない」ための行動に、一人ひとりが取り組んでいくことが大切です。  
 ○詳細については、本ガイドラインとともに、「新しいキャンパスライフをはじめよう！  
 ～新型コロナウイルス感染拡大予防マニュアル（第2版）」（2020年9月16日）をご参照ください。同マニュアルは主に学生（学部学生、大学院生）を対象に作成されたものですが、教職員をはじめ、大学を構成するみなさんに必要な情報を掲載しています。

<http://www.ritsumeai.ac.jp/file.jsp?id=462241&if=.pdf>

（参考資料）



**新しい  
キャンパスライフを  
はじめよう！**

**1 一人ひとりの基本的感染対策**

感染防止の3つの基本: ①身体的距離の確保 ②マスクの着用 ③手洗い

- 人との間隔は、できるだけ2m(最低1m)空ける
- 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける
- 外出時や屋内でも会話をすると、人との間隔が十分でない場合はマスクを着用する
- 家に帰ったら必ず手を洗う
- 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う(手指消毒薬の使用も可)

**移動に関する感染対策**

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える
- 発症したときのため、最とどこで会ったかをメモにする。接触確認アプリの活用も
- 地域の感染状況に注意する

マスクの着用  
Wear a mask



手を洗う  
Wash your hands



食事時の  
会話は控えて  
Refrain from talking while eating



密閉は避ける  
Avoid closed spaces



密集は避ける  
Avoid crowded places



密接は避ける  
Avoid close-contact settings



出かける前に  
体温測定  
Take your temperature before  
leaving home



大声を出さない  
Keep your voice down



接触確認アプリを  
利用する  
Use a contact-tracing app



**RITSUMEIKAN UNIVERSITY**

**新しいキャンパスライフをはじめよう！－実践例－**

**2 日常生活を営む上での基本的な生活様式**

- 最初に手洗い・手指消毒
- 短工チケットの提示
- こまめに換気(エアコン併用で室温を28℃以下に)
- 身体的距離の確保
- 「3密」の回避(密集、密接、密閉)
- 健康状態に応じた運動や食事、禁煙等、適切な生活習慣の実行
- 毎朝の体温測定、健康チェック
- 発熱又は風邪の症状がある場合はふりそりせず自宅療養
- 登校した後に発熱や体調不良等の症状が出たら、かかりつけ医、または保健センターにまずは電話で相談

**3 各場面別のキャンパスライフ**

**教室等の利用について**

- キャンパス内では必ずマスクを着用する
- 一定の間隔がとれた座席を確保する
- 教室の換気(窓開け・ドア開けなど)に協力する

**食堂などの施設の利用について**

- 食事の前には必ず手洗いをし
- 利用希望者のソーシャルディスタンスを確保する
- 不要な会話は避けて、速やかに食事を終る

**課外自主活動について**

- 対面による活動を再開するにあたっては、学生部に申請して許可を受ける(申請期間あり)
- 学生部に確認した対応方針に従って活動する

**諸施設の利用について**

- 施設利用前後に手洗い、手指消毒をする
- 利用時は必ずマスクを着用する
- 大声を出すことやマスクをはずしての会話は控える
- 「3密」を避ける

**通学時における注意事項**

- 徒歩や自転車等による通学を推奨する
- 公共交通機関を利用せざるを得ない場合
- 必ずマスクを着用する
- 人との会話は控える
- 時間・距離・換気・換気時間を避ける

**RITSUMEIKAN UNIVERSITY**

詳しくは、下記のガイドラインを事前にご確認ください。

[立命館大学における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン（第2版）（2020年9月16日改訂）](#)